ほけんだより　7月　金沢向陽高校

あっという間に夏休みが近づいてきました。これからますます暑さが厳しくなりそうです。熱中症にはくれぐれも注意し、水分補給、無理をしない等、気をつけて過ごしましょう。

新型コロナウイルス感染症の検査について

先日(7月16日)、新型コロナウイルス感染症専門家分科会の会見がありました。そこで出た、検査に関する話の一部を簡単にまとめました。新型コロナウイルス感染症の検査についてはメディアでも多くの人が様々な意見を出していますが、まずは国の専門家分科会の意見を参考にしましょう。以下、一部まとめです。

＊＊＊

◎新型コロナウイルス感染症の症状がある人や、無症状ながら感染者との接触や周辺での流行状況などから感染の可能性がある人（＝事前確率の高い人）など、医学面や感染対策面から必要と思われる人には、積極的にPCR検査を行う。

◎一方で、症状がなく、かつ状況等からみて感染の可能性が低い人（＝事前確率が低い人）に対する検査は、行政検査としては行わない。**単に「不安だから調べてほしい」という人には、国の施策としては、現段階では積極的に検査はしない。**ただし、災害の被災地に関しては、支援活動を円滑に行うために事前確率が低くても別枠で検査する。被災地支援に行く人に検査するのか、被災地にいる全員にするのか、被災地から帰る人にするのかといった詳細については、これから検討していく。

◎検査は万能ではない。陽性者のうち見逃される者もいる。ウイルスがあまり排出されていない時期に検体を採取すると、（見逃しは）もっと大きくなる。**偽陰性になると、本人は良かったと思って出歩く可能性がある。そうすると、感染を広げるリスクとなる。今日陰性でも、次の日に感染する可能性がある。1回安心しても、数日、数週間後に感染することは十分にあり得る。安心感は大事だが、100%の安心は残念ながらないと考えながら、検査をやることが重要である。**有症状者と、無症状かつ事前確率が高い人への検査を優先するという方針である。

＊＊＊

他にも大切なことをたくさんお話されていましたので、一度自分でも調べてみてください。「新型コロナウイルス感染症専門家分科会　会見」などで検索できると思います。